



2021年3月29日

報道関係者各位

慶應義塾大学

共生知能創発社会研究センター（HASS）設立 —人とAIとの共生社会実現を目指して—

人とAIが共生する Humanity 2.0 社会（※）の実現を目指して、2021年4月より、慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）に「共生知能創発社会研究センター」を設置します。本センターでは、戦略的産官学連携により次世代 AI を中核とした研究開発を推進します。これまでの「人が使う道具」としての AI とは異なる、人の意図を理解し、場の空気に応じた高い適応性と初めて遭遇する状況にも対応できる高汎用性を兼ね備えた、「人と共生する自律性・能動性を持つ心を持つ AI」の実現を目指します。

超少子高齢化する日本社会における人と共に働く労働力として、日々の信頼できる相棒として、人のように自ら考え相手のことを思い能動的に動作できる AI の実現は、AI が人間社会の一員になるための絶対条件であり、DX を社会に定着させるだけでなく、特に今後の With コロナ社会における発展を支えるための切迫した課題でもあります。このような中長期な先を見据えた取り組みを、産官学の横連携研究開発体制により力強く推進させます。

※超スマート社会を目指す Society 5.0 の精神を踏襲しつつ、社会を構成する一人一人の人間を強く意識した、「AI と共生する新しい人間社会の実現」という思いを込めた提案です。これまでの人間社会である Humanity 1.0 から Humanity 2.0 へのアップグレードを目指します。

1.本取り組みのポイント

- ・人と共生する次世代 AI の実現
- ・自ら考え相手のことを思い能動的に動作する AI の実現
- ・多様な戦略的産官学連携による中長期な課題に対する研究開発の推進
- ・DX・超少子高齢化・With コロナ社会への対応

2.設立の背景

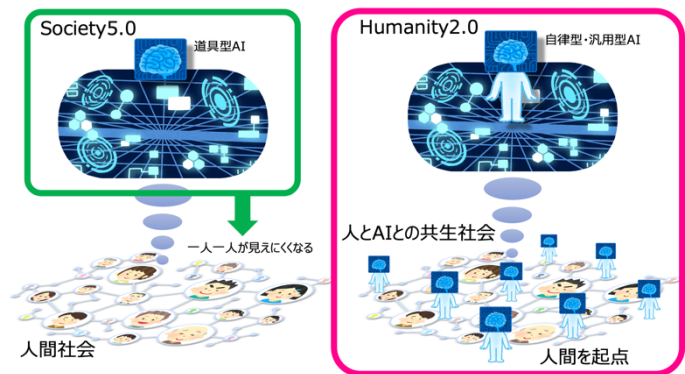
膨大な実空間の情報をサイバー空間に取り込み、AI による統合的な処理を行い、高い効率性や生産性の実現による超スマート社会の実現を目指す Society 5.0 は、日本が進むべき正しい方向であるものの、社会（Society）は一人一人の社会活動から創発される実体のない概念に過ぎず、社会への過度な注目は、肝心の人を覆い隠してしまいます。

例えば、インターネットの登場は仕事の効率化をもたらし、特に SNS の登場により人と人のコミュニケーションの可能性を大きく広げるなど、多大な恩恵をもたらしました。その反面、同質性やエコーチェンバーなど、本来多様性が育まれるはずのネット空間において多様性を否定する動きが散見され、フェイク問題、AI の認知デバイス問題など、有用な道具であるはずのテクノロジーに人

間が翻弄される状況が深刻な社会問題として顕在化しています。まさに、我々「人間」がどんどん置き去りにされつつあるのが現在の状況です。この問題は以前から指摘されているものの、この数年においてその深刻さが加速しています。

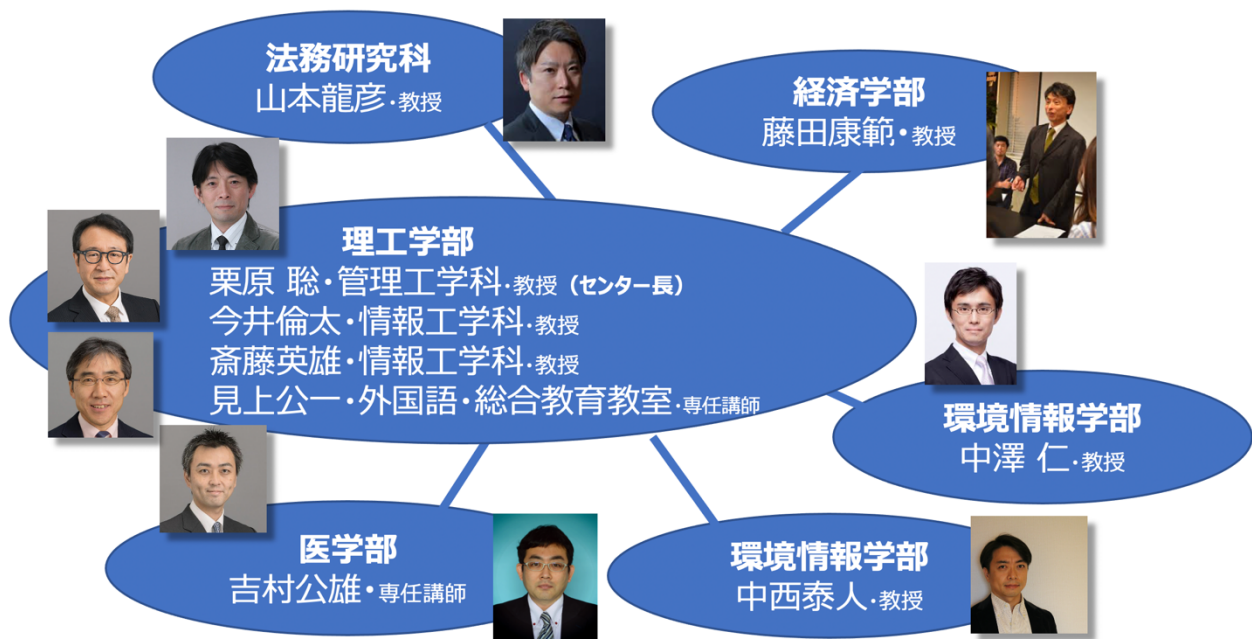
主役は社会ではなく、社会を構成する人間であり、社会は人々の活動の結果として漠然と認識されるものに過ぎません。人に

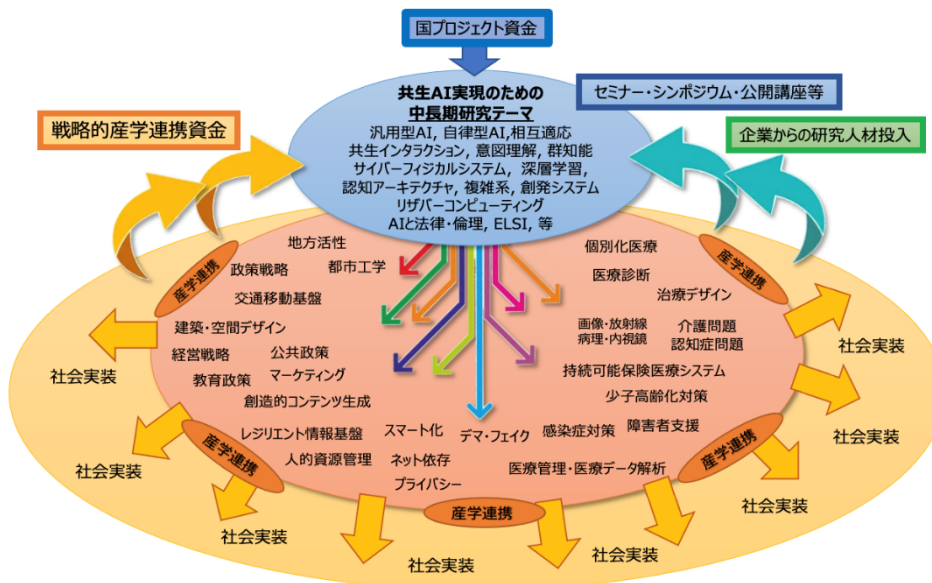
は一人一人個性があります。そのような一人一人に適応し、人から信頼される AI が人間社会の一員として人と共生し、その総体として我々が認識する社会を **Humanity 2.0** と提唱することにした。そして、**Humanity 2.0** の実現を目指すための拠点として本センターを設立します。



3. センターの概要

Humanity 2.0 実現のための次世代 AI 研究開発とその具体的な社会実装を行うためには、AI 研究者だけではなく多様な人材が必要です。そこで本センターは、経済学部、医学部、理工学部、環境情報学部、大学院法務研究科所属の各分野の研究者により構成されます。そして、大型国プロジェクトや産学連携資金での基礎研究の成果を、産官学連携にて社会実装し、それにより生まれる利益を基礎研究に投入する循環の確立を目指します。また、野心的な中長期の基礎研究を行うために産学連携を強化し、国プロジェクト資金の獲得を目指すとともに、企業同士の垣根を越えた連携を推進します。多様な研究者・エンジニアの連携から斬新なイノベーションを創発するため、企業からの人材を積極的に受け入れます。





4. 活動方針

研究活動に加え、定期的なセミナーやシンポジウム、公開講義などの対外活動も積極的に行い、イノベーションが起きる拠点として活動していきます。詳しくは下記ウェブサイトもご参照ください。

共生知能創発社会研究センター

Center of Advanced Research for Human-AI Symbiosis Society (HASS)

<https://sites.google.com/keio.jp/hass/>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部・社会部等に送信させていただいております。

・研究内容・産学連携についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 教授 栗原 聡（くりはらさとし）

TEL : 045-566-1714 FAX : 045-566-1714 E-mail : hass-info-group@keio.jp

・本リリースの配信元

慶應義塾広報室（澤野）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>